



発行所  
都立田園調布高等学校  
同窓会 月日会  
都立田園調布27-1  
電話 (3730) 4346  
発行人 田中博典  
編集責任者 中西正光

### 主な内容

- 母校五十周年に向けて
- 平成十年度月日会総会案内
- 特集  
田高にも女性 Power が...
- 近況お便りありがとう

# 来秋に!! 五十周年記念行事

我母校、田園調布高等学校は、来年度、創立五十周年を迎えます。これに併せて、学校側からの要請により、昨年度末、新田PTA、財団法人田園調布及び月日会から役員が数名ずつ参画して「五十周年記念行事運営委員会」が設立されました。今年度に入ってから、更に組織を固めるとともに、総務会を置いて、各小委員会の活動を把握、推進しています。

一、記念行事としては、  
平成十一年十一月六日  
（予備日 十一月十日）  
一、記念祝賀会の開催（同右）  
一、記念誌の編集  
以上を予定しています。学校

開のこうした行事に際しては、準備その他について、各委員団体から物心両面の多大な協力が不可欠で、特に予備日では、ほぼ全面的な援助が求められます。

ついでに、月日会としても、同窓生各位に広く寄付を募り、母校の五十周年を強力にサポートすることを決定し、ここにこの報告を次第です。そして、その成果を三年後の「同窓会の五十周年」へとつないでゆきたいと思えます。

三年後は、第一期卒業生から第五十期卒業生まで一堂に会して頂き、「同窓会の五十周年」をともに祝いたいと思っております。

## 年費納入とご寄付 ありがとうございます

毎年毎年、年費を納入下さり、会運常にとりて大変勇気づけられています。また、昨年度も百五名の方々から三十三万五千六百五十円のご寄付をいただきました。感謝申し上げます。

会報が各会員に発送出来ずとも年費を納めて下さる会員の方々の協力のおかげです。ありがとうございます。

「今年度はまた、母校五十周年記念行事へのご寄付をお願い致しております。兼ねてよろしくお願ひ申し上げます。」

# 平成10年度月日会総会

11月28日(土)午後3時～6時 池上会館

日時：十一月二十八日(土)  
午後二時三十分受付開始  
午後三時開会  
場所：池上会館（東急池上線池上駅下車）徒歩五分  
住所：東京都大田区池上 一三三二二八  
電話：〇三三七五二二三四

会費：五千円  
議事：決算報告、予算案、会長選出  
母校五十周年記念行事  
月日会五十周年記念行事  
懇談会終了後懇親パーティーを開催します。  
午後六時開会

来る十一月二十八日(土)、月日会総会を行います。今回は、前回の激しい総会とは趣向を変え、場所も参加費も身近に開催できるように設定しました。会場は、その昔はろにあ祭の演劇祭を開催していた大田区民会館、池上会館です。

かつてはろにあ祭は、今と違つて、演劇祭を一日と展示祭を一日「あはれ」は「日」というように分けて行っていました。演劇祭の日は全校で大田区民会館に行つて、各クラスや演劇部の演劇を演じたり、音楽団体（吹奏楽、ギターバンド、管楽器など）の演奏を聴いていました。特に三年生の演劇は「さす」が三年生！と思わせるすばらしいものであったそうです。当時を知る卒業生の方は、老朽化した施設を思い浮かべるかも知れませんが、数年前に新築オープンとなり、すっかり生まれ変わりました。それだけに、当時の思い出には浸れないかも知れませんが、周りの雰囲気は全く変わっていません。故郷がでたら是非「月日会総会」にお越しください。尚、「〇〇先生に会いたい」というご希望がありましたらご連絡ください。ご要望に添えるよう努力したいと考えています。

# 母校新体育館完成

母校の体育館が二月九日に完成しました。総工費約七億円、工期一年二カ月、延床面積二一九九坪の大工事でした。敷地に沿っている地形を利用して、地階を設けた二階建ての構造になっています。

一階は、メイシアリーナとスタジオ。二階には、キヤラリーと体育科学準備室があります。そして地階には、更衣室、倉庫、



新体育館での初の入学式

壁紙及びサツアリーナを有し、倉庫には万一の事態の時の備蓄倉庫が設備されています。建物には、地震に耐え充分考慮され、耐震構造でありながら、窓が多く、室内は大変明るくなっています。

又、筆者の記憶をたどると、夏の体育館は灼熱地獄でありました。しかし新体育館は、熱気を排出する換気機能を持つており、暑さも多少は改善されていることと思います。

とてもきれいで明るい体育館です。近くに行かれた際は、お立ち寄りはいかがでしょうか。



49期生です

## 一期会 開かれる

一期生同窓会「二期会」が、十月三十一日(土)午前十一時三十分より、品川プリンス新館・札幌の間で開催されます。

会報がお手元に届く頃には、一期会も終わっているかも知れませんが、きっと和やかな会となることでしょう。

## 新会員 四十六期生 二百三十八名

月日会員は延一万二千八百九十五名となりました。

連絡可能会員は、約九千五百名です。

## 多摩



〇月×日  
晴れ後雨後晴れ後雨後晴れ後雨...  
「この頃(否、毎年夏の同中)夏夜間限定不眠症候群(通称アツクテタマランゼ、春秋冬季夜間限定不眠症候群、通称トカクネムレムレ)でもあつた。だが朝、ウサキで起(こ)され(う)、ウサキで起(こ)され(う)が、常用している薬の副作用のせいで頭がまだ眠っていたので、今頃効く(う)すぐに眠(る)が直る。

こうして家族的関係の溝の危機は回避された。

私の一日の人間的思考生活部分終了!

...ここから非人間的思考生活部分の為、  
文章コードに触れる恐れあり過ぎて削除致します。  
以後「とうとう」が年がら年中「繰り返す」。

日記は存在しないのです。とも羨望です。日記って恥ずかしいです。過去に自分が何をしていたかを覚えてたかの記録なんです。また、それを一人で見(ん)で「喜(ぶ)要する自分の姿、恥(ず)かしい(う)たらあり(ま)ない(う)」。だから世に出(で)て来(ま)ない(う)。

あと、自叙伝みたいな感じで本を出す人がいる(う)じゃないですか、あれも日記(う)の(う)です。でもありのまま書いてると思(い)えます。水増し、隠蔽、や(ま)る(う)で(す)。

そ(う)考(え)たら日記なんて存在しないのです。

(四十五期生 巻沼 洋介)

皆様からの「連絡を  
お待ちしております」  
同窓会活動の提案、会報への投稿、近況報告、助ね人やバザアの献品等々。  
〒一四四一〇〇六一  
大田区北千束  
三二二四一〇〇九  
月日会々長 山中博隆



# ホームページ作成にかかる

幹事長 林 和紀(三十三期生)

平成九年度の同窓会の活動報告をいたします。  
年間行事に関しては例年通りに母校行事等に参加してまいりました。

詳細は左記を参照願います。  
○平成九年四月  
四十五期生三十七名月日会に入会(月日会会員一、六五



月日会7月度幹事会にて

- 五月 年間計画設定
- 九月 母校文化祭に参加
- ①PTAバザーに協賛(売上金三四二、〇三〇円)
- 大田区へ五万四千円
- 大田ろう学校へ三万五千円
- 図書券寄付

残金は母校五十周年創立金

②小会議室にて会報の展示

○十二月 第十八号会報発行

○平成十年三月 母校第四十六回卒業式列席

昨年度は大きな行事もなく平和に送れました。

しかし、今年度は定例行事や会報の他に総会の開催やホームページの作成があり、昨年に比べると忙しく活動を進めてい

ます。ホームページの進行も順調

## 母校の発展に寄せて

学校長 吉田 秀男



日頃は田中博隆校長をはじめ月日会の皆様には本校教育活動に多大なご理解とご支援をいただき、心から御礼申し上げます。

今年の二月末に新体育館が落成して施設設備は一層充実し、

来年度はいよいよ五十期生を迎え、創立五十周年を記念した事業を来年十一月に計画してい

る。月日会会員の皆様の一層のご支援ご協力をいただきます。

この半世紀、国の内外とも社

会は激しく大きく変化しました。特に科学技術の著しい進歩、高度経済成長、社会構造の多様化、複雑化等により、人々の生活様式や習慣、価値観、人生観等も変わり、その進みとして、最近生命の尊厳、人間不問、人権の侵害等の社会問題が多発した。学校教育現場でも大きな影響を受け、これら諸問題の解決に向けて学校教育の役割は益々増大し、社会の変化に応じた教育改革が求められている。

一方少子化による生徒数激減の中で、多くの学校では学級減や統廃合が進められ、母校を失う卒業生の悲しみも聞えています。本校では創立以来、生活信条を進み、来春には公開できそうです。インターネット上で会員と幹事会の双方の意見交換を可能にし、少しでも、ひとりひとりの会員と幹事会の対話を身近なものにすることを目標にしています。内容についても、意見提案を広く募集し、充実したホームページを完成させますので、皆様ご期待のほどを。アドレスは [www.tedhikanet.jp](http://www.tedhikanet.jp) です。

見切り発車的でもあり、まだまだ発展途上な内容だと思いますが、会員の皆様より多くのアクセスを担当者一同お待ちしています。

また常任幹事は、若者や昔(大昔?)若者だった人も加わり昨年から充実してきました。五十周年総会に向けての体制作りも少しずつ進んでおります。特に月日会五十周年総会準備期間は、各期一名の常任幹事体制という目標を掲げ、会長を筆頭に努力しております。

と、ここであと何年で同窓会五十周年だと思いませんか? 母校は、来年に五十周年を迎えます。同窓会はその二、三年後、二〇〇二年に五十周年を迎えるわけですね。

二十一年紀の最初の行事が五十周年記念総会とは何かの因果でしょうか(笑) どちらにしても月日会の総力を注ぎ込み、田高の卒業生全員で、今までにない規模の総会を成功させたく願っております。会員の皆様も常任幹事からの応援要請があった時は、快く引き受けてください。

先月、ひよんなことから当時の社会科の先生方数人と飲む機会がありました。もうだれも田高には残っていないのですが、酒場の一角にあの社会科教員室のひとときを過ごしました。

田高に勤めていたのは、もう十年ほど前のことになりました。実は時々、研究会の用事で田高にお邪魔することがあるのですが、校舎が建て替わってし

## みなさんがんばって下さるか、不況を乗りきれよ

旧教職員 和田倫明(社会科)



私ので、正直なところ懐かしい感じがするのはむしろあの「破産」をはじめとする学校のまわりだったります。

現在の、私は都立航空高専で、倫理学と心理学を教え、学生相談室でカウンセリングを担当しています。他に「倫理」の教科書の編集や、NHKの「高校倫理」の放送をお手伝いしています。

最近の仕事としては、「論理療法」という最近よく知られるようになってきた心理療法の開発者であるエリスの生涯やその理論を分かりやすくまとめたヤングラフとドワイアー著「分断学」久子監訳「アルバート・エリス 人と業績」(川島書店)の翻訳を担当しました。新しいカウンセリングや心理療法に興味のある方には、お読みいただければ幸いです。



パソコンでホームページの作成

## 会計報告

平成9年度分の月日会収支は下記の通り決算致しましたのでご報告申し上げます。  
会 計 熊谷 和己(38期)  
会計監査  
平成9年度の会計報告について適正かつ妥当であることを認めます。  
あらためて次回総会で報告いたしますが、先に会報でお知らせしておきます。

収入	支出	収入	支出
前年度繰越金	4,334,531	幹事会費	119,000
卒業生入会金	1,285,000	通信事務費	36,941
銀行利息等	3,592	印刷費	3,003,778
年会費	1,215,000	名簿郵賃	100,000
名簿売り上げ	87,600	ばらにあお参加費	3,602
寄 付	835,000	卒業生記念品費	72,182
		新入生記念品	68,902
		田園調布高専	50,000
		贈 答 費	0
		予 算 費	0
今年度収入計	2,707,556	予 算 計	2,000,129
		次年度繰越金	5,121,030
合 計	7,122,087	合 計	7,122,087

## 財団法人田園調布

昭和四十一年に設立されて以来、多摩川河川敷グラウンドの管理運営にあたり、一日、祭日のグラウンド貸出しに、百八トナームが登録され、毎月抽選会(写真)を行っています。

財団は、寄付金による運営です。皆様のご支援をお願いします。

理事 田中博隆(六期生)

## 平成九年度 決算報告

## 平成十年度 予算案

## 清流会

卒業生の保護者の方々でつづいている会です。母校や月日会の応援団でもあります。十一月一日は、奥多摩バス旅行を計画しています。



特集

田高で活躍する女性Power

今こそ女性の社会進出はめずらしいことではなくなりましたが、いまだ女性が役職につくと騒がれます。男女平等と叫ばれる様になって大分たちますがまだまだ問題は多いように思われます。さて私達の田高ですが、今年に入り女性のパワーが急増して

きた感があります。そこで今号の特集ではそれぞれの立場で田高のために活躍されている方々に原稿をお願いしました。時代の流れなのか、皆さんパワフルで月日会も頑張らなくてはどの思いになります。(編)

着任の挨拶  
教頭 木嶋智恵



号に過ぎた時代に思いを馳せると同時に、同窓の皆様との兼ねならぬ「意気」を感じました。また、こちらは赴任してからの、教育関係の方のみならず田園調布高校のご出身である方に多くお会いし、各方面で活躍なさっていることを知り

二度目の田園調布高校で  
事務長 渡辺ユリ子



「四十六年の三年間、本校に勤務しておりました。一度制服から自由服に替わり、新幹線に通勤コンタクトの校舎が新築され翌年には体育館が竣工した頃でしょうか。以来、大森・大森・日黒・上野・城南黄

役所と同じ勤務をする事務室にあって、夏休みは何かを期待する心算しものであるが、楽しみも始まる前までで、終わってしまえば仕事も遊びも十分にできなかった欲求不満ばかりが残る今日この頃である。この四月からお世話になっておりますが、私は出戻りで昭和四十三年

親子二代で田高に  
PTA会長 源田真由美



はじめまして。今年度田園調布高校のPTA会長をやらせていただいています。源田と申します。一人息子が小学校に入学して以来、PTAとは縁が切れなくなっていました。来春息子が卒業年度で、来春息子が卒業

のんびり。  
今の田高生について、  
生徒会長(二年B組) 岡島嘉子



のんびり。この印象は、私が入学した頃から変わらなず、今も田高のシンボルだと思っています。周りは住宅と図書館そして多摩川の流れる土手。とくに土手は私にとってとても大切な場所であり空間でもあります。

「御主人様は、月日会会員四期生であられます。」  
おちこんだ時、うれしい時、なんにもない時、上手に行く時は様々ですが、様々な中に友達との会話の場所としてここは最高な場所はあるでしょう。さて、私と私の友人らはよく

ことです。一年や二年では無理でしょうが、数年後の田高PTAが生徒達や先生方と、また地域の人々とも、より深い結びつきを持つようになってほしいというのが、私の一番の願いです。

「月日会会員のPTA会長誕生!!」  
源田さんは二十期生です。応援して下さい。(編)

この土手に、集まります。誰が決めたのでもありません。自然にそうなるのです。誰にでも痛みはあるでしょう。そうした痛みをここで人に話して新しい発見を見つかるのです。発見をしたらその場所は自分達の大切な思い出として心のこるでしょう。

新しい発見の場からつくり出されるもので私達はほんのちよつとずつ、大きくなっていく気分になります。他人との考え方のちがいに興味をもちます。

表彰を受ける女子バレー部 校長室にて  
春季リーグ戦3位入賞  
女子バレー部  
この4月に、東京都高等学校体育連盟主催の春季リーグ戦大会に於て3位入賞を果たしました。おめでとうございます。







# 近況お便り



▽昨年五期生同朋会をパソコンでホッパルで行いました。懐かしい先生方の御出席をいただきました。

▽五期生 伊藤 せん  
▽田高バスケット部OBで飯田先生の定年退職をお祝いしたいと思います。同朋の飯田先生とお会いしたい方はこのT&Eにお知らせ下さい。

▽七期生 西沢 彰洋  
▽光陰矢の如し。なつかしく会報を見ました。北陸へおこしの際は御一報を、福井の海はきれいです。

▽大阪にて小学校の教員を二十六年間してあります。田校の御発展をお祈りいたします。

▽雪国の生活も早九、おしい米とそばと日本酒を楽しむ毎日です。田高を卒業してもう二十年になるのです。月並みな感想ですが月日のたつのは早いものです。

▽今年より就職しています。会報楽しく読ませてもらうつもりです。

▽四十期生 鹿野 公郎  
▽十一月に二人目の子が生まれました。元々やわやわしています。病院で「高出生産だから」と言われがっかり。私は高産だったのか。

▽四月には下の子も高校生。上の子も高三になりましたので田高時代の自分を思い出さずが多いこのごろです。友達の間では「書生さん」と呼んでいた漢文の高山先生はお元気でしょうか。

▽早稲田大学文学部で若い学生諸君とワイワイガヤガヤとやっております。昨年三十年ぶり

に田高バレー部の先輩後輩同朋会と会いました。

▽三年前から日本大学理工学部で教授として働いています。田高から日大への進学者は比較的多く、心強く思います。進学者等お手伝いできることがあればお知らせ下さい。

▽高校時代から音楽が好きでしたので今も市民合唱団でうたつて楽しんでおります。

▽開業医になって医療よりも医療問題で忙しいこの頃です。

▽二十五年振りに会ったクラスメイトと久々に田校を訪れました。余りの変り様に只驚くばかり、当時よりも今の方が出身であることを胸張っております。

▽仕事に忙しい四十代です。息子が高校三年になります。私が田高時代の体育科の飯田均先生は！

でも、毎日高校生をみていて、今も昔も、やはり高校生は高校生なんだと思う。二十数年前、自分が高校生だった頃は、学校の外にそれは楽しく熱中できるものが多いはなかつたので、自分たちから進んで、文化祭、体育祭、クラブ活動などに熱中していた。今は、学校の外に楽しいことがたくさんある。学校の中で何かをやらせようとすると、勉強でも、行事でも、

何でそんなことやるの、め

生が何と担任です。「ピッカリ！」

▽今年七月に札幌で日本同朋会を開きました。同朋の若田(松沢)千草さんに水彩画を友情出品して頂き、北海道に懐

第三十四回若原にあ祭が九月十九日、二十日の両日開催されました。

月日会は「同窓会月日会」と「ふれあいバザール」の二つのプログラムで参加致しました。PTA主催の「ふれあいバザール」には、会長以下五名の月日会役員が、皆縁から寄せられた献品の値付けから販売、反省会まで参加しました。保護者の方々、先年方、PTAのOB、ご近所の皆様、学校見学の中学生……、たくさんの方が詰めかけた会場は活気と熱気に包まれていました。総売上は三二〇、九六五円でした。この収益金の

んどくさい」といふ返答をする。でも、うまくアプロイすれば「さすが高校生！」と思わせるすばらしい集中力を見せられる。

結局、私たち大人次第なのだと思ふ。今の若者を取り巻く情報過多の環境は、良くも悪くも私たち大人がつくったものだから、高校生に対して「何をどうすればいいのか」という道筋を示す作業が、数十年前より遥かに必要になったのかも知れない。

あるいは、「そんなことは自分で考えろ」

「そんなことは自分で考えろ」と放っておく方がよいのだろうか。

▽都立志村高校勤務

今も昔も……



## 新体育館で ぼろにあ祭

第三十四回若原にあ祭が九月十九日、二十日の両日開催されました。

月日会は「同窓会月日会」と「ふれあいバザール」の二つのプログラムで参加致しました。

PTA主催の「ふれあいバザール」には、会長以下五名の月日会役員が、皆縁から寄せられた献品の値付けから販売、反省会まで参加しました。

保護者の方々、先年方、PTAのOB、ご近所の皆様、学校見学の中学生……、たくさんの方が詰めかけた会場は活気と熱気に包まれていました。

総売上は三二〇、九六五円でした。この収益金の

んどくさい」といふ返答をする。でも、うまくアプロイすれば「さすが高校生！」と思わせるすばらしい集中力を見せられる。

結局、私たち大人次第なのだと思ふ。今の若者を取り巻く情報過多の環境は、良くも悪くも私たち大人がつくったものだから、高校生に対して「何をどうすればいいのか」という道筋を示す作業が、数十年前より遥かに必要になったのかも知れない。

あるいは、「そんなことは自分で考えろ」

「そんなことは自分で考えろ」と放っておく方がよいのだろうか。

▽都立志村高校勤務

でいる方々大勢に見て頂きました。同期で札幌在住の角田重雄さん、戸田(井原)剛子さんも駆け付けて下さってとても嬉しい懐かしい集まりでした。

一部は、大田区福祉課と大田ろう学校に寄附されました。

小会議室で行われた「同窓会月日会」では、一七八号の会報・名簿等の資料が展示されました。また、パソコンを導入し

月日会のホームページを開設するための準備のデモンストラーションが行われ、ふれあいバザールの写真も掲載されました。

新体育館の完成で本年度のぼろにあ祭では、演劇祭が復活しました。三年生各クラスの演劇のほか演劇部、吹奏楽部などの見ごたえある舞台が観られました。

中夜祭前には、三年生男子全員による組体操も行われました。演劇の練習と平行しての組体操の練習は、さぞ大変だったことでしょう。でも、良い思い出とともに三年生も卒業を迎えられそうです。

▽二十期生 三宅 秀世

退職者 異動先 教科目

井田良克 教育庁 教科目

加藤明房 日比谷高 数学

木村保彦 第四商業高 数学

高橋一信 青山学院 保健

酒井昭夫 進 英語 英語



## ぼろにあの由来

校章の樹の学名ポロニア・インペリアルリスと、北イタリヤの世界最古の大学ポロニヤから案出されました。

校章の樹の学名ポロニア・インペリアルリスと、北イタリヤの世界最古の大学ポロニヤから案出されました。

校章の樹の学名ポロニア・インペリアルリスと、北イタリヤの世界最古の大学ポロニヤから案出されました。

校章の樹の学名ポロニア・インペリアルリスと、北イタリヤの世界最古の大学ポロニヤから案出されました。

校章の樹の学名ポロニア・インペリアルリスと、北イタリヤの世界最古の大学ポロニヤから案出されました。

校章の樹の学名ポロニア・インペリアルリスと、北イタリヤの世界最古の大学ポロニヤから案出されました。

校章の樹の学名ポロニア・インペリアルリスと、北イタリヤの世界最古の大学ポロニヤから案出されました。

校章の樹の学名ポロニア・インペリアルリスと、北イタリヤの世界最古の大学ポロニヤから案出されました。

校章の樹の学名ポロニア・インペリアルリスと、北イタリヤの世界最古の大学ポロニヤから案出されました。

校章の樹の学名ポロニア・インペリアルリスと、北イタリヤの世界最古の大学ポロニヤから案出されました。

転入者 前任所属 教科目

本嶋智恵 足立新田高 数

小林信子 都立大野高 数

野中順一 忍岡高 数

吉田 工 野津田高 理科(化)

葉輪好明 南高(定) 保健

阿部文雄 都立大野高 英語

梅村正吉 新田高 英語

渡辺三子 雪谷高 事務長

宇田川秀雄 江東工高 警備主事

警備主事

警備主事

警備主事



## 編集後記

今回の会報は総会の日程を知らなくても早く発行を予定していたんですが、編集長である私の個人的都合で大分発行が遅れてしまいました。

もう少し遅った理由をど机上の空論で、実際は紙面を埋めるのが精一杯という状況でした。

その中で田中会長、鈴木副会長、田上副会長、林幹事長、二十期三宅さん、三十八期藤谷さん、四十五期山田さんをはじめ多くの方々の協力の下、なんとか発行に至ることとなりました。

お忙しい中感懐執筆に依じて下さった方々には時にお礼申し上げます。

日々変化していく情報を皆様に正確に迅速にお伝えすることの難しさを実感いたしました。

私は月日会会報以外にも小さい機関誌の編集を三つやっています。月日会会報も毎年きちんと出していく事がもっとも大切なのではないでしょうか。

會員の皆様はさあさあご意見をお待ちして編集者の声とさせていただきます。

三十七期生 小西 正晃

進路状況

1998年春の卒業生の4年制大学進学先

最近5年間の合格者の多い4年制大学

1998年春の卒業生の進路状況

東京農工	2 (2)	都立保健科学	1	亜細亜	1
桜美林	1	工学院	1 (1)	國學院	2 (2)
国士館	1	駒沢	2 (2)	実践女子	1
芝浦工業	1 (1)	昭和女子	2	成蹊	2 (2)
成城	1 (1)	専修	2	中央	1 (1)
帝京	5 (1)	東海	3	東京経済	1 (1)
東京電機	1	東京農業	1	二松学舎	1
日本	1 (1)	法政	3 (1)	武蔵	3 (2)
武蔵工業	1 (1)	明治学院	2	立教	4 (2)
立正	2 (1)	和光	1 (1)	神奈川	1
神奈川工科	1 (1)	関東学院	4	湘南工科	1
東洋英和	2 (1)	鶴見	2	城西	1
神国外語	1 (1)	淑徳	2 (1)	奈良	1

98年春(46期)	97年春(45期)	96年春(44期)	95年春(43期)	94年春(42期)
神奈川 14	神奈川 18	日本 17	日本 15	関東学院 18
日本 13	駒沢 16	帝京 12	専修 14	神奈川 13
東海 10	関東学院 15	東洋 11	神奈川 14	大東文化 10
東洋 9	日本 14	駒沢 8	帝京 13	東海 10
法政 9	専修 12	神奈川 8	東海 12	武蔵工業 9
武蔵工業 9	明治学院 11	東京農業 8	駒沢 11	立正 9
明治学院 9	東海 11	立正 8	東洋 11	日本 9
関東 9	千葉商科 9	東海 7	立正 8	帝京 8
亜細亜 7	法政 8	専修 6	関東学院 8	明星 8
駒沢 7	明治 8	國學院 6	明治学院 6	国士館 7
成蹊、明治、帝京、	明星 8	関東学院 6	明治学院 6	法政 6
湘南工科 各6	東洋、成城 各7	千葉商科 6	中央学院 6	青山 6
合計 256	合計 269	合計 261	合計 288	合計 266

	男子	女子	計	%
4年制大学	42	23	65	27.4
短期大学	0	31	31	13.1
専門学校	7	22	29	12.2
就職	0	5	5	2.1
浪人	66	27	93	39.2
その他	8	6	14	5.9
合計	123	114	237	